

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年11月30日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4672900133
法人名	社会福祉法人九十九会
事業所名	グループホーム秋光園
所在地	鹿児島県日置市東市来町360-1 (電話)099-274-3770
自己評価作成日	平成26年10月30日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成26年11月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームA棟は、高台の日当たりの良い立地に恵まれています。園の周辺には、季節に応じて、花や野菜を植え、訪れる方々の目を楽しませています。各居室には、トイレと洗面台が設置され、プライバシーが保たれています。限られた職員数ですが、工夫して、外出援助や園外活動を楽しんでいます。また、食事は、なるべく地元の海の幸、山の幸を使用し、入所者の好みを尊重したメニューづくりに心がけています。看護師、介護士が連携し、より安全で健康な毎日をおくれるよう日々努力しています。その方に応じて、こまめに健康チェックを実施し、病気等の早期発見に努めています。入所者の希望に応じて、散歩や畑仕事などを積極的に実施し、職員と入所者が笑顔で過ごせる生活を目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・ホームは、住宅街を抜けた高台に位置し、特別養護老人ホームやデイサービス、訪問介護事業所、在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所など併設し、近隣には、温泉街や神社、観光農園なども多く交通の利便性もよい。
- ・隣接した敷地では、地域の方々がグラウンドゴルフを楽しんだり、保育園の運動場に活用するなど日頃から地域との交流の場になっている。また、園児はデイサービスの慰問活動をしており、利用者も子ども達と交流するなど外出している。
- ・今年、5月末に自治会が法人・グループホームと災害時の連携協定を結び、夜間の火災などの際、近くの住民らが入所者の安全確保に協力することになり、新聞報道もされた。地域住民と施設やホームとの関係性もより一層深まっている。
- ・ホームの理念は、地域と関わりを持ちながら笑顔あふれるホームづくりをケアするといった目標を絞ったシンプルだが、園訓もあり職員は、会議時唱和して日々意識してケアに取り組むなど実践につなげている。
- ・協力医療機関とは24h医療連携が図れており、重度化の過程で本人、家族、医師、関係者間で話し合い、受入れ先や住み替えなどの方向性を検討するなど支援してしている。また、研修体系も整っており、内部・外部の研修会への参加を勧め職員のスキルアップを図り、ケアに活かしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	職員全員で作成した理念を園内に提示し、読み上げて確認しています。	職員全員でアイデアを出して作り上げた理念(5年前)は、“地域との関わりを持ちながら笑顔あふれるホーム作り”を目指すといったシンプルなテーマに絞った理念になっており、会議前には全員で唱和し共有されている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	文化祭に参加したり、定期的に防災訓練を地域と協力しながら実施しています。	自治会に加入しており、地域の文化祭にちぎり絵を毎年出展するなど地域交流している。中学生の職場体験学習、ボランティアの受け入れも積極的に実施。今年10月、自治会が施設と災害協定を締結するなどより密接に地域との関係性が構築された。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	特養や支援センターと連携し、地域に溶け込めるよう、お祭りや見学会を実施しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入所者やその家族、自治会長、民生委員や他事業所の方々に参加し、意見をケアに反映しています。	会議は定例化され、協力医療機関のスタッフが参加するなど相互交流があり、メンバーからの意見は職員全員で話し合い、よりよいケアの実現に向けてサービス向上に活かしている。管理者は、行政や家族の参加促進が、今後の課題と捕らえている。	事業所の取り組み内容や具体的な課題を話し合い、地域の理解と支援を得るために、メンバーの方が会議に参加しやすいように曜日や時間を工夫するなど積極的に関わられるような工夫に期待したい。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営委員会はもとより、事務所、支援センターを通じて色々なアドバイスを頂いています。	市担当者とは、日頃から直接相談したり、市の部会などで事業所の実情を報告するなど連携し、関係性を築くように努めている。また、職員は連絡ノートに記し、情報の共有を図るようにしている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的（年3回以上）に身体拘束委員会を実施し、現状報告を行い、職員一丸となってケアの再確認を行っています。	鍵をかけない自由な暮らしを実践しており、外出傾向の方などには、言動に注意しながら本人の意向に沿うケアに努め、ドライブしたり、自宅に戻るなど臨機応変に対応して安心につながっている。身体拘束委員会があり、現状報告や事例検討を実施するなど身体拘束の弊害などについて常に意識を持ちケアに取り組んでいる。また、センサーマットを活用して安全を確保するなど転倒防止にも取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	特養での研修や、GH独自の研修を通して学んでおり、日々のケアでは職員同士、言葉かけなどにお互い注意しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修は実施していますが、あまり馴染みがなく、活用までは至っていません。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時は、管理者を含め、他の職員など複数で対応し、ご家族に充分説明し、納得していただいた上で契約の締結や解約等を行っています。</p>			
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進委員会や年2回の家族会、また面会時や担当者会議の際に要望を伺い、反映しています。</p>	<p>本人からは、日常生活の中で意見や要望など聞き取ったり、家族からも面談や運営推進会議、行事への参加時に聞き取るようにしている。出された意見などは、連絡ノートに記し、申し送りで共有してミーティングで話し合いサービスに反映させるようにしている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>普段の業務や月に1回の会議で様々な要望や意見を聞く機会があり、それを反映しています。</p>	<p>管理者は、職員が意見などを出しやすい雰囲気作りに努めており、職員の意見や要望などは、月1回の会議で話し合い運営に反映させている。また、個別評価を実施するなど人事考課システムがある。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職場環境の整備はある程度実施できていると思いますが、給与水準に関しては見直して欲しいと思っている職員がほとんどです。</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職場内外で研修を実施し、研修復命報告でその内容を共有しています。また、資格取得に関して、研修や日程調整で協力しています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>県や市のGH協議会に加入し、研修会等で他事情所と情報交換を行い、サービス向上に努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所前に十分に面談を行い、園の生活への不安をやわらげるよう努めています。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>園への見学を勧めたり、入所前にも十分な面談を実施し、要望をうかがうよう努めています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入所者ご本人の意思を尊重し、ご家族とも相談しながら柔軟な対応に努めています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>共に生活をおくる、ということを第一に、人生の先輩として学ぶこともあることを意識して支援しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族と綿密に連絡をとり、些細なことでも相談できるような関係が築けるように努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの店、場所とのつながりが疎遠にならないよう、外出支援に努めています。	生活歴を大切にしており、新聞を購読される方、俳句を書道にして楽しめる方、手紙の代筆や投函の支援、電話の取次ぎなど積極的に支援している。また、墓参り、理・美容店、道の駅に外出するなど場所や人との絆を大切に関係が途切れることがないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	それぞれの個性を尊重し、相性等も考慮して、職員がクッションとなり、支援していきます。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入所者のその後の動向について連絡をとり、その時点での最適な場所等の相談に応じています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入所者本人希望を第一とし、なるべく本人の意向に添ったケアに取り組んでいます。	本人の思いや意向については、意思疎通を図る中で受け止めるよう努力しており、家族からも意見をもらうようにしている。聴力低下や意思疎通困難な方には、筆談や表情、しぐさなどで思いを汲み取り、安全・健康を第一に考えている。職員は、本人や家族の思いを共有し支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に本人や家族から十分に聞き取りを行い、基本情報やその後の経過について職員全体で共有します。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日、入所者の状態を確認し、小さな変化も見逃さないよう努力しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月の会議や担当者会議、モニタリングを必ず実施し、職員それぞれの意見や本人、ご家族の意向が反映された介護計画を作成します。	介護計画は、アセスメント、モニタリングを繰り返しながら、毎月の会議や担当者会議にて本人や家族の希望や意向に寄り添い、計画の見直しにも柔軟に取り組むなど現状に即した介護計画を作成している。また、市担当者には、年1回計画の作成など指導や助言を受けている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>介護日誌に日中・夜間帯の様子を記録します。個別の細かい状態記録等は、個人台帳に詳細に記入し、情報を共有しケアに活かしています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>その時に必要なサービスに対応できるように、情報収集を行い、柔軟に支援ができるよう努めています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の行事、文化祭等に参加したり、買物などに出かけて交流しています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご本人と家族の希望を優先しかかりつけ医を決めています。またご本人の状態をこまめに家族に報告しています。</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医となっており、昼夜問わず医療連携が図れるよう関係性が構築されている。認知症専門医、歯科、脳外科などの専門医への情報提供とともに家族に協力をもらうなど相互の連携・連絡体制を築いている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員はB棟に所属していますが、A棟にも勤務し、健康管理、病院受診などに対応して介護職員と良い連携をとっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入所者が入院中は、病院の医師、相談員。家族と情報交換を行い、退院に向けての支援を積極的に行っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化については、入所契約時に説明し承諾を得ています。また家族会や、入所者の状態の変化に応じて説明をし、支援しています。	重度化した場合について、入所時「重度化や終末期に向けた指針」にて説明をおこなう。事業所は、看取りの体制がなくこれまでも事例がない。重度化につれケースカンファレンスにて、本人、家族、医師、事業所関係者間で十分に話し合い、次の受入れ先を検討するなど折に触れて家族には説明し承諾を得ている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	法人全体やGH内で、折に触れ救急法は勉強していますが、突発的に的確な対応ができるか、特に夜間など、不安を持っている職員もいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に避難訓練を実施し、運営委員会を通じて自治会の方と一緒に連携をとっています。</p>	<p>今年5月末、杉之迫自治会と法人・事業所と災害時の連携協定を結び、夜間の火災などの際、近くの住民らが入所者らの安全確保に協力することになった。ユニット間に距離があり、地域住民の役割分担や対応についても具体的に課題を明確にするなど地域との協力体制を検討中である。備蓄も確保され居室の配置も工夫している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入所者一人ひとりの意思を尊重し、同意を得た上でケアを実施しています。また穏やかな言葉かけに努めています。	利用者の誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけやケアをしないよう支援している。また、日頃から言葉の使い方や声かけは、“穏やかに”を心がけ、その人らしい尊厳ある姿を大切にしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	なるべく、ご本人の能力に応じ、自己決定できるように支援します。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務優先ではなく、入所者の意向を優先し、その方のペースや希望にそって支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	更衣や整容はご本人の希望や能力に応じて支援していきます。		
40	15	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その方の能力に応じ、簡単な配膳や、片付けなど無理せずに支援しております。	献立は担当職員が食材にあわせ工夫作っており、年1回栄養士によるアドバイスを受けたり退院時指導も受けている。外食や誕生会のケーキ作り、行事食（彼岸の団子、おはぎなど）や利用者のリクエストにも応えている。菜園では、季節野菜が採れ、家族などから差し入れもある。また、根とりや皮むきなどお手伝いをされる方もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食、食事量や水分摂取量を記録し、健康を保てるよう支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、その方に応じた口腔ケアを支援し、清潔保持に努めています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	各人の排尿、排便のパターンを記録し、能力に応じてトイレ誘導や声かけを実施しています。	排泄の声かけは、利用者ごとに工夫しており、プライバシーに配慮したケアを実践している。退院後、布パンツに改善された方もいて、オムツの使用量をチェックし、負担軽減にも努めている。トイレが居室に設置されているため、ベッドの配置を工夫するなど移動動線を工夫して、安全を確保している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表を通じて情報を共有し、繊維や乳酸菌の摂取に努めます。主治医の指示で下剤等を使用する場合もあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入居者の希望や体調に応じ、週3回の入浴を実施しています。また1対1で、入浴介助を実施しています。	本人の体調やペースに合わせて入浴回数を加減したり、失禁がある時は入浴を勧めるなど清潔保持に取り組んでいる。また、清拭や更衣、手浴、足浴も合わせて支援している。冬場は、温度管理を徹底し、快適な入浴タイムを楽しんでいただいている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夕食後、その方の希望や体調に応じた時間に入眠を促しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	受診時に内服の変更や頓服があった場合は記録に残し、職員全員で情報を共有します。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	趣味や能力に応じて、読書や料理、買物、手芸等の支援をしております。		
49	18	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	気候や体調を考慮しつつ、ご家族の協力も得ながら、外出、外食、園外活動を実施しています。	利用者の希望や必要性に応じて声かけし、近隣を散歩するなど日課になっている。外出傾向の方は、自宅にお連れして安心してもらったり、正月やお盆、2週間に1回外泊される方の支援も積極的におこなっている。また、隣接するデイサービス慰問の保育園児と交流、夏祭り、花火大会が楽しめるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自分でお金を管理している方もいますが、紛失等のないようにご家族とも協力し、支援しています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望に応じて電話や手紙書きの支援を実施しています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入所者にとって心地よい空間になるよう、清潔、換気、温度に気をくばります。</p>	<p>玄関ホールからは、廊下、食堂の一部が一望でき来訪者をつぶさに感じることができる。居室が左右に設置され、広い廊下にソファや椅子が配置されて思い思いに過ごすことができ、壁には毎年“干支”を意識したちぎり絵が展示されている。食堂は、採光がありオープンキッチンになっており、職員と会話しながら食事の準備ができるよう工夫された共用空間になっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>食堂などの共有の場所に長椅子等を設置し、入所者同士の談話の支援に努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室のベッド等のレイアウトは入所者のADLに応じて配置しています。また、ご本人の希望するなじみの家具や机を持参していただいています。</p>	<p>居室には、ベッド、トイレ、洗面台、整理タンスなど配置されているが、家具やタンス、テレビ、仏壇、位牌、毛布など使い慣れた物を持ち込みそれぞれ個性豊かに居心地よい居室になっている。また、移動や排泄を目的とした動線の確保もありベッドなど配置を工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>手すりを増設したり、余計な障害物がないように努め、安全に生活できるよう支援しています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない